

京都教区時報

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

P. 3 MISAS EN:ENGLISH, PORTUGUES, ESPAÑOL

5頁 田中司教が語るエピソード(6)

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
編集用 TEL・FAX
077-527-6800
(滝野)

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込み
TEL・FAX 0794-31-8601

ウイツテ神父米寿を祝う

ウイツテ神父の米寿と、司祭叙

階六十三周年を祝つて、六月二十八日、名張教会において祝賀会が開かれました。

当時は、内輪の催しにも拘らず、旧知の信者が駆けつけるなど約八十名の出席で、喜びの輪が広がり、また、会場には神父想い出の記念

写真やスナップ約二百枚が貼り出され、若き日の神父の姿に人気が集まつておりました。

ウイツテ神父はメリノール宣教会の所属で、一九三五年、司祭叙階二カ月後には来日され、布教の第一歩を踏み出されたのであります。戦後はいち早く再来され、彦根、

伏見教会などで活躍されました。その後の移動もあり、一九七六年、四度目の来日によって今日に至つており、司祭生活六十三年の内、実際に四十七年の長きに亘り、日本に在つてキリストの福音を宣べ伝えおられます。

米寿を迎えた現役の司祭は、まさに稀有の存在であります。

(Y生)





戦国の武将、浅井長政の姉で、キリストとして生きた京極マリアの没後三八〇年忌追悼祭が去る六月二十八日(日)舞鶴市泉源寺(増田憲空住職)において、カト

京極マリア380年忌追悼式



リック関係者一二〇名、仏教関係者一五〇名の参列者を得て合同で営まれた。

中央祭壇には「養福院殿法山寿慶大禪尼」(佐々木京極若狭守同丹後守御母元和四年戊午年七月朔日)と銘記された位牌が祭られ、仏教者を代表して増田住職の読経から法事が始まり、続いてカトリック形式による聖歌、大松正弘神父による聖書の朗説、ルメー神父のお話、さらに京都北部三教会代表による共同祈願、最後に終わりの聖歌が境内に流れ、宗旨を越えて参加者一同深い感動に打たれた。

又、追悼式に統いて「京極マリア」の著者で豊岡市在住の渋谷美枝子先生による「マリア追憶の歴史について」の講話が行われた。さて、京極マリアが世に出たのは昭和十六年(一九四一年)智性院の末坊「此御堂」において一つの古びた位牌が発見された事から始まる。マリアは一五八一年、夫

鶴の泉源寺に移り住んで戦乱の世を逃れ、一六一八年七十五歳で没するまでの八年間を「此御堂」を布教所として、祈りの中で生涯を閉じたと言い伝えられている。

この度、ルメー神父と永年ご交誼のあった増田住職との念願が叶えられて、実に三八〇年振りに仏式、カトリック形式合同による追悼祭が実現した。

「京極マリア」、戦国キリスト歴史の中のこの偉大な女性の存在はこの追悼祭を出発点として、丹後のキリスト歴史の中で「細川ガラシア」とともに、私たちはもつ

の京極高吉とともに安土で洗礼を受け、京都大阪で布教活動をし、その後長男若狭守小浜の城主高次、

次男丹後守田辺城主高知のいる舞

(京都北部カトリック協議会会長伊藤武志)

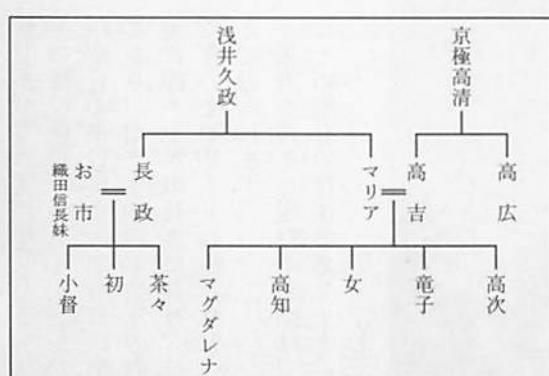
FAX 0773(76)8828
東舞鶴教会 担当者・井納
電話 0773(62)1133
(京都北部カトリック協議会会長伊藤武志)

電話 0773(75)2294
西舞鶴教会 担当者・伊藤
尚、巡礼等で詳しく知りたい方は、左記まで連絡下さい。

マリアの位牌がある智性院、隣接した「此御堂」跡は京都府北部と福井県との県境に近い緑の山々に囲まれたところで、静かに訪れる人を待っている。



此御堂(こみどう)





滋賀合同堅信式
5月24日 in 安土セミナリヨ跡

京都南部合同堅信式 5月31日 in 河原町教会



外 国 語 ミ サ

● MASS IN ENGLISH (英語ミサ)

- *SHIN-AI KINDERGARTEN
～PAG-ASA COMMUNITY
Every Sunday 3 p.m.
- *Franciscan house
Every Wednesday 4 p.m.
- *NISHI-MAIZURU church
The first Sunday of the month 3 p.m.
- *KUSATSU church
The fourth Sunday of the month 2 p.m.
- *NARA church
The last Sunday of the month 2 p.m.
- *YAGI church
The third Sunday of the month 2 p.m.
- *TSU church
The second Sunday of the month 2 p.m.
- *MATSUZAKA church
The first Sunday of the month 3:30 p.m.
- *YOKKAICHI church
The second Sunday of the month 4 p.m.
- *SUZUKA church
The fourth Sunday of the month 2 p.m.

● 한 국 어 미사 (韓国語ミサ)

- *京都コリアン・カトリックセンター
第1日曜日 午前10時

● MISSA EN PORTUGUES

(ポルトガル語ミサ)

- *Igreja paroquial de KUSATSU
Segundo Domingo do mes tarde 15 horas
- *Igreja paroquial de YOKKAICHI
Primer Domingo do mes tarde 16 horas
- *Igreja paroquial de NAGAHAMA
Cuarto Domingo do mes tarde 16 horas

● MISA EN ESPAÑOL (スペイン語ミサ)

- *Iglesia de FUSHIMI
Segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde
- *Iglesia de KUSATSU
Primer y tercer Domingo del mes a las 2:30 de la tarde
- *Iglesia de YAGI
Primer Domingo del mes a las 2 de la tarde
- *Iglesia de NISHI-YAMATO
Segundo Domingo del mes a las 3 de la tarde
- *Iglesia de SUZUKA
Segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde
- *Iglesia de NAGAHAMA
Cuarto Domingo del mes a las 2 de la tarde

聖靈が語る

村上透磨神父の講演

聖書講座シリーズ「聖書が語る聖靈」の講演要旨です。

●聖靈に心を開く

まず、聖靈を語るのか、聖靈について語るのか、聖靈が語るのか、気になります。それがどう違うのか、ここで話す余地がありませんが、少なくとも聖靈を対象として語ってはならない。聖靈は頭で理解し、考え方ではない。聖靈は自ら語り、自らを証される方。そのため、私たちは聖靈に聞くことから始めねばならない。さて聞くとは心を開くことです。

さて聖靈が働きるのは、「私達の中に徳や愛や恵みや、その確信、感動、充実感にある」と思うのは、一種の思いすこです。聖靈の体験はむしろ謙虚さ、自分を無化し透明化し、空にした時にある。少なくとも始まるということです。

聖靈は砂漠の体験である。聖靈に出会うには砂漠に自分を置く事から始めるということ。これは私の今回のお話をまとめであり、結論であります。

●知ることの難しさ

さて聖靈を知ることの難しさを述べたいと思います。第一に聖靈は御父や御子の様に顔や名や姿をお持ちにならないということです。だからシンボル（火、風、息、水、鳩等）を通して語る。しかし、シンボルそのものは聖靈ではない。

第二に聖靈を知るのは、神からの啓示によって知られる。しかし、その知る言語は内的な体験を通して語られて知る。ここに問題点がある。それは聖靈の体験が、思い込みや確信と混同される恐れがあると言ふことです。

感動興奮恍惚、熱意靈的な充実感、愛、恵、徳等を持つ事の思い込み等と混同される恐れがある。それは聖靈の内在のしであるかも知れないが、証拠ではない。聖靈の内在を信じる時には内なる偶像を造り上げることになるかも知れない。あのルチフォルの、罪を犯す前の人祖の中に神の栄光が輝いていたことを思えば……。その栄光が自分の栄光と勘違いします。

●聖書から

聖靈の働きについて語るにはルカ書が良いのですが、私はマタイから三つの箇所を挙げることにします。
第一は荒野の誘惑（4・1～）
第二は種まきのたとえ（13）
第三は主の祈り（6・9～）

「もしキリストが復活し、聖靈を送つて下さらねば、キリストの業はキリスト個人の中に完成したとしても、私たちには何のかかわりもない出来事にすぎぬ」という含蓄深い言葉を心に留めておきた

つも謙虚を語らねばならない。謙虚さとは、あの創造の時、塵に神の息吹き（靈）が触れたあの現実に基づく。人は砂漠で聖靈に

出会うと言つたのはその意味である。聖靈は内的に語られ、人間の本質において生き働くが、それは謙虚な心に働く神の力とささやきなのです。

これこそ「聖靈に席をゆずれ」と言う意味であり、「聖靈は沈黙において働く」という意味なのでしょう。即ち、己を開放し、無化し、透明化し、己を塵に返し、無立つ時、聖靈が充ちる。私がここで申し上げたいのは、聖靈が生き、語り、働き給うためには少なくともまず自分を無化すること、砂漠におくことがなければならない。創造の原初の神との出会いの場に自分が立ち帰らせる事に始まるといふことなのです。

①荒野の誘惑では、聖靈は砂漠に人を導き、無の体験をさせる。断食と祈禱により人を無我に導く。自分が空にされ透明化された時、神の三つのテストを受ける。

ここでその答えの根本には自分の中に偶像を作らぬこと。全て神に自分をあけわたすことが求められている。即ち「神は全て」と言う。テストに合格すると、聖靈はその実践を指導される。あの受難復活榮光の無化と再創造の体験に向かって。

②種まきのたとえ。みことばを蒔くものとして働く聖靈。みことばを受け入れる良い土の中に働く聖靈。

③主の祈り。父よと呼ばせる方は聖靈。主の祈りを共に唱えて下さるのも聖靈。主の祈りは聖靈により砂漠で祈るのが最もふさわしい祈りと思われる。

田中司教が語るエピソード(6)

▼司教様はアジアの司教ということで、屢々アジア各国に行かれたそうですが、それについて簡単にお話しして下さい。

◆アジアのカトリックは日本からパキスタンまでの十六の司教団教区で、教皇パウロ六世がフィリピンに来られたのを機会にFABC(アジア司教協連盟)を組織し、たびたび集って意見の交換や現状視察などが行われました。私も若い時には年二・三回その研修会に参加しました。第一回目のものは一九七九年五月にフィリピンで行われたFABC・OHD(人間開発)主催のものでした。マニラに集合し、オリエンテーションの後、班別され、私は四人組の一人となつてインファンタに一週間滞在しました。そこでは司教様のご指導が良く、信徒たちが熱心で、特に社会問題についての意識の高い人が多かったです。信徒たちとの分かち合いで一番に質問されたのは日本からの司教、私でした。



上座仏教僧と



▼その他にも色々なところに行かれましたか?

◆はい、一番数多く行ったのはアジアの中心であるタイだと思います。そこで上座仏教の様子などを耳にすることができました。今

がら、不勉強でそれについて知りません」と答えました。当時はマ

ルコス政権時代で、日本企業がフィリピン政府に多額の金を払い、貧しい農民を山上に移住させて最新

式のバナナ農園を日本の為に作っていたのでしょう。その他、小教区をアチラコチラ見学して、多くの人々と会話を交わしました。

四人の司教の宿泊は教区の木造建ての三階の広間で、蚊帳を吊つて寝ました。その時に最初で最後ですが他の司教様の英語の寝言を耳にすることができます。今

時には三階に洗面所がなく、顔を洗うのも歯を磨くのも一階にまで降りて行かなければならずよい運動にはなりましたが、少々自由でした。

一週間インファンタで過した後、再びガタガタ道を通ってマニラへ帰り、それからバギオの神学校に行きました。そこでは、班別に過ごした一週間の体験報告と反省をグループになって話し合いました。言葉は半分位しか解りませんでしたが、良い勉強と体験でした。

出席の為に出かけた国は韓国、台湾、ホンコン、マカオ、フィリピン、マレーシア、シンガポール、インドネシア等で何回行ったかその回数はわからない程度です。会議の内容は別として、度々集って同じアジアの兄弟司教として親しくなるところに意義があると思いました。(つづく)文責・編集部

仏教では、朝早く托鉢してから朝食を摂り、正午前にその残りを食べ、午後は全く断食をするのです。日本の仏教とは全く違った修行の生活のようでした。

お
知
ら
せ

福
音
セ
ン
タ
ー
よ
り

- ◆福音センター養成コース
 ◆病人訪問コース(2) 5日
 (土)~6日(日)。竜安寺ウイチャ聖ヨゼフ修道院。講師=沼野尚美、福音センタースタッフ。対象=病人訪問コース、病人司牧コース受講者。一万四千円。
- ▼典礼コース in 奈良 10月3日
 (土)~4日(日)。高の原野外礼拝セントラル。一万四千円。申込9月24日まで
- ◆西院カトリック会館での行事
 ▼おてんとさんの会 毎火曜日13時~16時30分。会費二百円
- ▼すみえ教室 第2、第4木曜日13時30分~15時。講師=Sr.野元品子。会費二千円(二回分)と教材費
- ▼神父が語る文化史こうざ 2日(水) 10時30分。テーマ=牛にひかれて善光寺まいり。資料代五百円

教
区
委
員
会
よ
り

- ◆宗教と差別シンポジウム「宗教のもつ差別性をどう克服するのか」

20日(日) 14時~17時。河原町教会。参加費=五百円。シンボジスト=石井祥裕さん(オリエンス研究所)「礼拝と祭儀—聖と俗の葛藤のゆくえ」、榎本てる子さん(日本基督教団京都教区巡回牧師)

「女性教職として生きる—私の体験から」、小笠原正仁さん(浄土真宗本願寺派僧侶)「差別・被差別からの解放」。司会者=神林宏和さん(大阪教区司祭)。主催=部落問題委員会、正義と平和京都協議会。連絡 075(223)291

2、第4月曜日10時~12時30分
 ▼暮しの中のカウンセリング 第

FAX 075(822)7020 ◆福音センター養成コース

▼病人訪問コース(2) 5日

(土)~6日(日)。竜安寺ウイチャ聖ヨゼフ修道院。講師=沼野尚美、福音センタースタッフ。対象=病人訪問コース、病人司牧コース受講者。一万四千円。

▼典礼コース in 奈良 10月3日

(土)~4日(日)。高の原野外礼拝セントラル。一万四千円。申込9月24日まで

◆西院カトリック会館での行事
 ▼おてんとさんの会 每火曜日13時~16時30分。会費二百円

▼すみえ教室 第2、第4木曜日13時30分~15時。講師=Sr.野元品子。会費二千円(二回分)と教材費

▼神父が語る文化史こうざ 2日(水) 10時30分。テーマ=牛にひかれて善光寺まいり。資料代五百円

三
重
地
区
よ
り

奈
良
地
区
よ
り

2、第4月曜日10時~12時30分
 ▼暮しの中のカウンセリング 第

▼茶道教室 每木曜日13時
 ▼A A グループ 每土曜日19時

◆奈良力トリック協議会 20日
 (日) 14時~16時。大和郡山教会

◆奈良県結婚互助会 20日(日)。奈良教会

◆奈良ウォーカソン 23日(水)。雨天決行。飛鳥路を歩こう(9キロメートル)。コース=近鉄「飛鳥」駅(スタート)~柑橘の丘(ゴール)。集合=近鉄「飛鳥」駅前。受付は9時30分から。10時スタート。送金予定先=ブレタ(フィリピン)、カリタス大阪「五円キヤンペーン」、「世界の子どもたちにワクチンを」日本委員会。

◆奈良力トリック協議会例会 27日(日) 13時30分。長浜教会

◆敬老の日祝福ミサ 13日(日)。西舞鶴教会

◆敬老の祝福 13日(日)。東舞鶴教会

◆手話きょうしつ 每木曜日19時30分~21時。西院会館。主催=カトリック聴覚障害者の会京都グループ。連絡=福音センター柳本

◆朝禱会 每火曜日7時~8時。河原町教会。食事及び雑費=三百円。

◆黙想会 13日(日) 彦根教会。テーマ=聖霊の恵み。指導司祭=ペトロ師(カブチ教会)。8時30分~ミサ、9時40分~講話、10時15時。河原町会館

◆京都南部地区より
 30分~ゆるしの秘跡、11時5分~

聖体贊美式

◆びわこウォーカソンと交流会 23日(水)。大津教会10時集合、10時30分出発。13時30分交流会(ミニコンサート)。14時15分~15時30分、分かち合い

◆滋賀力トリック協議会例会 27日(日) 13時30分。長浜教会

◆びわこウォーカソンと交流会 23日(水)。大津教会10時集合、10時30分出発。13時30分交流会(ミニコンサート)。14時15分~15時30分、分かち合い

◆敬老の日祝福ミサ 13日(日)。西舞鶴教会

◆敬老の祝福 13日(日)。東舞鶴教会

◆手話きょうしつ 每木曜日19時30分~21時。西院会館。主催=カトリック聴覚障害者の会京都グループ。連絡=福音センター柳本

◆朝禱会 每火曜日7時~8時。河原町教会。食事及び雑費=三百円。

◆黙想会 13日(日) 彦根教会。テーマ=聖霊の恵み。指導司祭=ペトロ師(カブチ教会)。8時30分~ミサ、9時40分~講話、10時15時。河原町会館

◆京都北部地区より
 30分~ゆるしの秘跡、11時5分~

◆教会の祈りと聖体贊美式 6日(日) 17時30分。河原町教会

◆力ナの会結婚相談室開設・例会 6日(日) 13時受付、13時30分~

報告

みことばを
かこう 書道展・絵画展応募要項 '98聖書週間

- 主催……京都教区・カトリック福音センター・聖書委員会
- 趣旨……聖書を生活中に入れていく
- 参加資格……(1)子供の部一幼児から高校生まで
(2)成人の部一大学生・一般社会人(どなたでも)

【書道】 【絵画】

4. 出品要項……(1)出品点数 3点まで 3点まで(合作も可)
(2)大きさ 自由 自由
表装、裏打ちなし 額縁なし
(3)出品料 無料

- ※ 内容は聖書の中から自由に選んでください。
- ※ 申し込み用紙と出品物を作品にそえて出品してください。
- ※ 子供の部は入選者に表彰状を差し上げます。
- ※ 作品は原則としてお返しませんが、遠方の方以外で返却希望される方は、福音センターまで取りに来て下さい。
- 5. 出品締切……11月5日(木) 敷守
- 6. 送り先……カトリック福音センター
〒604-8855 京都市中京区壬生淵田町26番(075)822-7123
- 7. 展示会……西院カトリック会館 1階ホール
11月13日(金)～11月24日(火)

- ◆ 9月の大塚司教のスケジュール
- | | |
|-------------|-------------------------|
| 6日(日)～8日(火) | 大阪管区 |
| 神学生合同合宿(四国) | |
| 10日(木) | 司教常任委員会(東京) |
| 10日(木) | 日韓関係史勉強会(正平協) |
| 13日(日) | 青少年担当司祭会議
(奈良教会) |
| 16日(水) | 正平協運営委員会(東京) |
| 17日(木) | 司教顧問会 |
| 20日(日) | 山科教会創立45周年 |
| 20日(日) | カトリックスカウトサンデーミサ(聖母短大講堂) |

◆ 司祭の異動
▼ 四日市教会主任 ルンブレラス
師(7月11日付)

◆ 京都教区ホームページ再開
京都教区ホームページは、諸般の事情により一九九七年六月三十日より休止しておりましたが、八月一日より再開致しました。
ホームページのアドレスは、表紙の京都教区時報のタイトルの下に掲載しています。

◆ 編集後記
お知らせに載せたい情報は、月号でしたら8月31日までに、FAX 077(527)6800に
お願いします。

JOC(ジョック)とは、フランス語の Jeunesse Ouvrière Chrétienne(ジュネス・ウヴリエール・クレティエンヌ「リスト教的な働く青年の集まり」の意)の頭文字をとったものであります。一九一九年にベルギーで始まり、現在では、全世界の約六十カ国、日本国内の十二カ所で活動している働く青年によるグループです。

京都JOCは、京都市南区の九条教会内にある「京都働く人の家」で、現在約15名ほどのメンバーにより、月2回ほど集まって活動をしています。主な活動の一つは、「ティーパーティ」と呼ばれる集まりです。ここでは、メンバーが順番に、自分の生活・仕事・趣味などを紹介したり、「仕事」「友だち」「夢」などといった、一つのテーマにそった話し合いをしたりして交流を深めています。お茶やケーキ(時には、ワインも)を囲んだなごやかな雰囲気の中でみんなでぎやかに語

◆ 司祭の異動

▼ 四日市教会主任 ルンブレラス

働いている青年のみなさん、"JOC"をご存知ですか? :

和田 真(京都 小山教会)

り合っています。

JOCに来て何年かたつたメンバーでは、「生活と活動の見直し」という活動を行っています。働くいなかでは、時には壁にぶつかることがあります。

この集まりでは、ティーパーティーより一步進んで、一人のメンバーが抱えている現状を仲間同士とともに考え、それを乗り越えて成長していくための話し合いをしています。

JOCのメンバーは、カトリックの信者はばかりではありません。JOCの集まりを通して、教会に行っている人もそうでない人も、楽しみながら、仲間同士励まし合い、人間的に成長していくことができればいいなあと考えていました。

京都JOCでは、新メンバーを募集中です。次回は、9月26日(土)19時より、ティーパーティーを予定しています。お問合せは、TEL 080(481)0947 和田まで。

あんてな (((((お)))))

京都JOCは、京都市南区の九条教会内にある「京都働く人の家」で、現在約15名ほどのメンバーにより、月2回ほど集まって活動をしています。主な活動の一つは、「ティーパーティ」と呼ばれる集まりです。ここでは、メンバーが順番に、自分の生活・仕事・趣味などを紹介したり、「仕事」「友だち」「夢」などといった、一つのテーマにそった話し合いをしたりして交流を深めています。お茶やケーキ(時には、ワインも)を囲んだなごやかな雰囲気の中でみんなでぎやかに語

京都JOCでは、新メンバーを募集中です。次回は、9月26日(土)19時より、ティーパーティーを予定しています。お問合せは、TEL 080(481)0947 和田まで。

(((お))) あんてな